

摩周の里 夏まつり

摩周の里 夏まつりが7月14、15の両日、後場前駐車場で開催されました。同実行委員会が主催したもので、今年で2回目。町民有志の皆さんが中心となって、多彩なイベントを企画しました。14日はゲームやカラオケなどのイベントのほか、弟子屈小学校・弟子屈中学校・弟子屈高校の吹奏楽、Pレバントワラー弟子屈教室・摩周蝦夷太鼓保存会の発表が行われました。15日は恒例となった第17回全道摩周玉入れ選手権大会が行われ、熱戦が繰り広げられました。



弟子屈中学校吹奏楽部の演奏



勇ましい摩周蝦夷太鼓



たくさんの観客を前に(弟子屈高校吹奏楽部)



友達との出店めぐりはお祭りの一番の楽しみ



大人の部で熱い戦い



選手も観客も白熱する玉入れ大会

なつりつ
いろいろ



みんなて決めポーズ



各クラスごとにテーマに沿って



町内をパレード



衣装やダンスにも工夫が



多くの観客に見守られて



心を一つにいた本番!

第51回弟高祭

第51回弟高祭が、7月14日から15日にかけて開催されました。今年のテーマ「RE:Start」のもと、パレードや摩周の里夏まつりでのアトラクション披露、各クラスごとに趣向を凝らしたホームルームスペース、委員会や部活動の展示などが行われました。

高弟今年も観光甲子園へ挑戦

弟子屈高校の3学年が昨年引き続き観光プランコンテストへチャレンジ



関係者の前でプレゼンを行う生徒の皆さん

象に平成21年度から始まり、今年が4回目の開催となりました。高校生の「面白い」「そうだったんだ」という感動と発見をもとに、地域の自然や歴史、文化を再発見し、それをどのようにして人々に伝えていくかが重要なポイントです。

生徒は総合的な学習の時間を使い、地元の自然や歴史、文化への理解を深めるとともに、地域の観光の現状や課題、経済的な振興を考慮しながら、10チームに分かれて、それぞれ1プランずつ、合計10プランを造成しました。

3年生が昨年に続き「観光プランコンテスト」に「観光甲子園」に応募しました。観光甲子園は、神戸夙川学院大学(神戸市)などでつくる実行委員会の主催で、高校生が主役となって地域をアピールし、実際に商品化を目指すことができ「地域観光プラン」を募集するコンテストです。「観光立国日本」を担う人材育成を目指す試みの一つとして、全国の高校生を対

1校からの応募が3プランと規定されているため、締め切りの7月4日を目前にした6月27日、校内選考会が開かれました。校長をはじめとする教員の皆さん、それまでプラン造成を支援してきた観光カリスマの山田桂一郎さんやてしかがえこまち推進協議会、役場観光商工課の職員、(株)ツーリズムてしかが・旅

行業取扱者の太田さんが見守る中、生徒は各チームごとに造成したプランを丁寧にプレゼンテーション。その結果、僕のものつやすみ 弟子屈編「巡る巡る

ネイチャーダイエット in てしかが「弟子屈町のくんびり堪能ホームステイツアー」の3プランが選ばれました。応募総数76校(158プラン)から10プランが本選出場という中で、同校の本選出場は残念ながらありませんでしたが、学年主任の眞野春香教諭は「観光甲子園への取り組みは、生徒た

ちが地元のことを考えるきっかけとなる絶好の機会でした。今年も町民の皆さんへ発表できる機会をつくりたい」と述べ、生徒たちの頑張りを称賛しました。同校では今後、町内巡検などを行い、造成したプランをさらにグレードアップさせ、12月には町民の皆さん向けの発表会を開催することとしています。

テーマ エコツーリズムによる地域振興

～てしかがスタイルのエコツーリズムとは～

10/2012年 川湯観光ホテルラピュタ 摩周観光文化センター

全国エコツーリズム大会 in 北海道 てしかが

大会スケジュール

【第1日目】

- 基調講演 田川博己さん NPO法人日本エコツーリズム協会副会長 (株)JTB代表取締役
演題「観光地域づくりとエコツーリズム」
- トークセッション 江崎貴久さん(NPO法人日本エコツーリズム協会理事) 徳永哲雄 (弟子屈町長) 富田 恵さん(てしかがえこまち推進協議会) 田川博己さん(NPO法人日本エコツーリズム協会副会長) 山田桂一郎さん(NPO法人日本エコツーリズム協会理事)



【第2日目】

- エクスカーシオン(体験型見学)
- 特別講演 C.W.ニコルさん (株)C.W.ニコルアファンの森財団 理事長
演題「(仮)美しい日本の森から未来を考える」



【第3日目】

- 分科会

主催/てしかがえこまち推進協議会 共催/NPO法人日本エコツーリズム協会